



ひがしかぐら

こんにちは

議会だより です

NO. 89

ひがしかぐら



主な内容

第1回定例会 ● 平成28年2月29日～3月18日

- 予算等審査特別委員会 …P.2～P.5
- 一般質問 8名 …P.6～P.14
- 主な議案・臨時会 …P.15
- 議会の動き …P.16

表紙写真：「君の椅子」贈呈式

28年度予算

57億9千6百万円で

決定する

予算等審査特別委員会の審議内容を掲載



ひじりの支所 検討委員会について

Q 支所検討委員会報償12万とありますけれども、何人の委員、何回の会議ぐらいを予定しているのでしょうか。

A 支所検討委員会の報償ですけれども、10名程度で年に3回程度で開催したいということで今考えているところでございます。



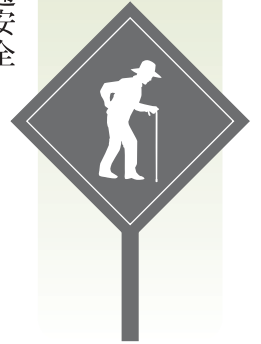
ふれあい窓口

統一ブランド創造事業委託料について

Q 統一ブランド創造事業委託先はどこになるのでしょうか。かぐらっきーのような公募はしないのでしょうか。もう決まっていますか。
A ブランドデザインの創造事業は、27年度の総合戦略の一つでもありまして、既に補正予算を計上させていただき事業に取り組んでおります。

委託先に㈱ミルデザインという東京の会社で、デザイン自体は28年度完成予定しております。その前段のワーキンググループを立ち上げて若い方々に東神楽のイメージとか、デザインを検討し、実際のデザインを作っていくということになっていきます。

高齢者マークの設置を



Q 高齢者がよく出入りする施設周辺に交通安全の為に高齢者マークを設置したらどうか。

A 良い物であると考えますので、検討して設置に向けていきたいと思えます。

特定健診率 初の40%台突破！ 今年はさらにアップを！



Q 国保の補助金にも影響する定期健診の受診率はどうなっていて、取り組みはどう考えているか。

A 平成26年度の特定健診の受診率は40・7%となり初めて40%台を超えました。3月16日現在では42・6%となっております。

3町の中では美瑛町が42・3%で、東川町と東神楽町は同じ40・7%の受診率です。

農業プロモーター業務委託事業の内容は

Q 農業プロモーター業務委託料150万円とあるがどんな人を雇い、何をしてもらうのですか。既に人選はできているのですか。

A J A 東神楽等とも議論をしており、全国で活躍されている方がいますのでその方を想定しています。年間10回、北海道に来ていただき、農業経営者及び役場、J A 等と打ち合せをしながら進めていきます。今年度は東神楽町の農産物の価値を様々な角度から分析して行きます。

新町団地の新しい公営住宅に

カーポートをつけるべきでは？

Q 新町団地の整備事業において4戸2階建て木造の住宅を建設するが駐車場にカーポートがありません。住宅に住んでいる方もほとんど車を持っています。美深町、中川町のようにカーポートを整備するべきではありませんか。

A 上川管内では屋根付きの駐車場のある公営住宅が整備されているところもあります。しかし屋根付きの駐車場は補助金の補助対象になっていないので他の町は町単費で整備しているようです。予算の確保等、検討しながら整備を進めて行く必要があると思えます。



車庫付き公住

スクールカウンセラーの 相談範囲の拡大は可能ですか

Q 現在1名のカウンセラーが中学校に在席し、子供達や親の相談を受けていますが、小学校や幼稚園、保育所の子達、親の相談は受けられないのでしょうか。

A 現在、中学校に配置されています。他の学校からの相談がある場合は受けられる方向で体制を整えて参ります。



相談室

幼保一元化の方向性は

Q こども園という発想の中で、具体的にいつ頃と考えているのか。

A 前々から検討しておりまして、できれば本年度中に詰めていきたいと考えています。



ひがしかぐら幼稚園



中央保育園

清野修一 委員長

審査の結果



当特別委員会に付託された、平成 28 年度東神楽町一般会計予算の件ほか 3 特別会計等の予算及びこれに関連する予算関係条例 5 件の、合わせて 9 件については、審査の結果、すべて「原案の通り可決すべきもの。」と決定致しました。

以下、本件審査に係る意見を付します。

(審査意見)

当特別委員会が付託を受け審査を行った平成 28 年度一般会計の当初予算額は、57 億 9,600 万円で、前年度当初予算比 8 億 2,400 万円、14.2%の増額となっています。

新年度事業の説明において、公営住宅新町団地整備事業、公営住宅さくら町団地改修整備事業に加え、森林公園のリニューアル計画や既存道路・橋梁の改修等公共施設の老朽化対策に対しての、計画的な取り組みが予定されています。

歳入について、「自主財源の充実・強化を図り、収入財源確保に務める」との説明がありましたが、多くの行政課題や多様化する町民ニーズに応えるためにも、補助金・交付金等の新たな財源確保に努力されることに期待します。

本年は、山本町長にとって 2 期目の年であり、町制施行 50 年の節目の年でもあります。将来に向け活力ある東神楽の実現をめざすために、その具体的施策として新年度予算が提案されました。

人口 1 万人の町として引き続き人口が増え続けている当町においても、将来必ず訪れるであろう人口減少と高齢化の問題は、避けて通ることのできない課題であります。「東神楽町地方版総合戦略」「第 8 次東神楽町総合計画」等の実施、実現に向けて、活力ある新たなまちづくりを目標に、引き続き、自主・自立のまちづくり、そして持続可能なわが東神楽町の確立に向け、一層の行財政改革に取り組まれることを強く求めます。

執行者におかれましては、審査の中で各委員より提出された多くの意見を十分に尊重されることはもちろん、特に 9 款・5 項・5 目公民館費の「4 志比内地区公民館整備事業」においては契約方法の選択を適切に行うこととされたい。

町長をはじめとする全職員が住民本位という自治体本来の考え方に立脚し、東神楽町の確かな未来が展望できる予算となることを期待します。



伊藤 一乗 議員

- 1 東神楽町国保診療所の建替え計画と審議会の最終報告に対する対応は
- 2 町おこしのための冬まつり（ウィンターフェスティバル）の継続を

渡辺 一志 議員

- 1 TPP協定に伴う東神楽農業への影響は
- 2 「花のまち」の再興と育苗センターの拡充計画は



森國孝芳 議員

- 1 森林公園のリニューアル計画について
- 2 除雪車等の維持管理について
- 3 国営緊急農地再編整備事業について

大門 登 議員

- 1 東聖簡易郵便局の存続について
- 2 学校給食費の助成で子育て世代の経済的負担の軽減を
- 3 ひじり野地区に支所の設置・病院の誘致は



丸田隆嗣 議員

- 1 猫の対応について
- 2 山本町政について
- 3 森林公園リニューアル計画について
- 4 新町団地計画について
- 5 副町長2人体制について

山口千春 議員

- 1 新しい消防団員への連絡体制の整備を早急に
- 2 子供の貧困対策として高校生等奨学給付金へ町独自の上乗せを
- 3 続く大型投資案件、どこまで可能なのか

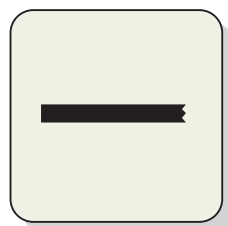


窪田 功 議員

- 1 病院の開設について
- 2 義経公園の噴水の改修について

中屋豊孝 議員

- 1 高齢者支援について
- 2 スポーツ運動公園の建設予定は



質問・答弁は要約されています。質問・答弁内容は質問者が要約した内容が掲載されています。詳しく知りたい方は、議会事務局とふれあい交流館に会議録がありますのでご利用ください。

第1回定例会では
8人が一般質問しました。

伊藤 一 議員



問 東神楽町国保診療所の建替え計画と審議会の最終報告に対する対応は

答 診療所の建て替えは、他の施設建築計画と整合を図り、審議会答申の公設公営を軸に検討します



国保診療所

質問 東神楽町では、町立診療所の老朽化に伴う対応策や診療所経営等の調査・診断について、札幌のコンサルティング業者に委託して報告書の提出を求め、さらに町内の有識者による審議会を重ねております。これら、委託業者への支払金額や審議会の最終報告に対する見解等について回答されたい。

町長答弁 業務委託料は、67万9千460円であり、地域医療審議会の報告内容は「診療所の施設整備については、更新が必要」とし、「子どもや子育て世代などを含む幅広い層や、多様な受診者に対応できる診療体制が必要」との答申を受けており、今後、施設の運営管理なども含めて効率的に検討していきたい。

町おこしのためのウインターフェスティバルの継続を

質問 冬場の一大イベントであります「雪あかり2016」が、2月13日、雪あかり実行委員会と東神楽町の共催により実施され、大変盛況でありました。

なお、地域に定着しつつある「雪あかり2016」は、約150万円の予算が組まれており、町から100万円の補助金が交付されております。

しかし、国の交付金事業である「まちづくり交付金」は、今年度で終了となります。

これでは、ウインターフェスティバルの継続も困難になるものと思われま

す。当町としても、地域活性化のために次年度も同様な予算措置をお願いしたい。

町長答弁 同「雪あかり2016」は、東神楽町観光協会を中心に東聖地区公民館、中央地区公民館、ひじり野地区活性化実行委員会、東神楽消費者協会の5団体が携わり、ふれあい交



雪あかり 2016

流館とひじり野公園を会場に盛りだくさんの内容で開催され、冬のイベントとして定着しているところであります。国の交付金事業である「旧まちづくり交付金」は平成27年度で終了いたしますが、平成28年度の開催については、地域の交流、故郷や郷土の思いが醸成・継続されるよう町で予算措置をしているところで、引き続き、冬のイベントとして盛り上げていきたいと考えております。

渡辺 一志 議員



問 TPP協定に伴う東神楽農業への影響は

答 4千5百万円から8千4百万円程度と試算しています

質問 国や道は大筋合意したTPP協定の日本農業に対する影響とその対策を示しております。

その試算に基づいた我町における影響はどの程度なのか、国は「米」に対する影響は「0」としてはいますが果してその通りなのか。

酪農に影響が最も大きいとされる中で、その対策が効果的なのか、農業者の不安が大きい中で町の対応は

町長答弁 輸入米の数量拡大は価格水準が下落すると懸念されています。牛肉・乳製品は国・道の対策は有効と考えており、町として酪農・肉牛生産に助成をする計画です。

再質問 どのような状況になろうとも勝ち残る経営意識と強い経営体作りや法人化による後継者の確保を可能とする条件整備の一つとして国営緊急農地再編整備事業が重要であると考えます。更に道営事業も平行した条件整備を図ると共に、長期的農業ビジョンで方向性を示していく事が必要である。

町長再答弁 国営緊急農地再編整備事業により基盤整備をし、今後の地域農業、東神楽農業がしっかりと生き残っていける体制を農協や関係団体と協力して進めて参ります。

花の街の再興と育苗センターの拡充計画は

質問 「花のまち東神楽」が過去になりつつある中で地方版総合戦略で新しい時代の「花のまち」の再興を計画しています。オーブンガーデンの開設、ガーデナーの育成、「はなの駅」などが挙げられています。これらの具体的な推進方策はどうなのか。更にその拠点となる育苗センターを拡充する計画はあるのか

町長答弁 町全体を花いっぱいにするとともに、環境美化と「東神楽花のまち景観計画」とによる東神楽らしい景観づくりを行うものである。オーブンガーデンを「はなの駅」とし、交流の場として活力あるまちづくりを進めるものであります。

具体的には住民が手入れているオーブンガーデンにより町全体を花いっぱいにするために「花の駅」として交流の場とするためにガーデナーの育成や啓発活動、活動団体への誘致などにより町民と行政が協働で推進していきます。

育苗センターは拠点となる施設です。今後の拡張については中央市街地の再整備を検討する中で進めていきます。

再質問 50年前に「花いっぱい運動」から「花のまち東神楽」が生まれま

した。町政50年の節目の年に新しい時代の「花のまち東神楽」を再興することは意義あることと思えます。しっかりと町民運動として推進していくかなければならないと思います。その拠点となる育苗センターは15万本の花苗を供給していますが、余力は2万本程度です。苗生産の拡大と見本となるオーブンガーデンの設置や栽培講習会や交流の場として充実に図る必要があると考えます。

町の「やる気」を見てもらうには、大胆な行動が必要であると思えます。道々沿いのツツジをラベンダーに変える考えはありませんか。

町長再答弁 育苗センターを中核として花のまちづくりを再考していきます。指導的役割と「育苗」による子供達の教育に資する施設として考えていくと共に中央市街地と合せて考えていきます。

ツツジからラベンダーにしてはどうかという事ですが、旭川空港線に道が管理しているラベンダーがあります。下草管理に難行しており、検討しますが難しいと考えます。



育苗センター

■ 森國孝芳 ■ 議員



問 森林公園リニューアル計画の検討結果に対し、今後は町民の意見を汲み取らないのですか

答 これまでに町民の意見を聞いています。事業内容は町民に周知します。

質問1 森林公園のリニューアル計画を知らない町民が多いようです。多額の町費を投入するのだから、検討委員会の答申内容をそのまま採用するのではなく、広く町民に周知して、その意見を吸い取る努力が必要ではありませんか。

多額の町費を投入するのだから、検討委員会の答申内容をそのまま採用するのではなく、広く町民に周知して、その意見を吸い取る努力が必要ではありませんか。



森林公園

町長答弁 アンケート調査による基本構想をもとに検討委員会を取りまとめました。今後は広報などを活用して周知します。

質問2 森林公園、花神楽への交通手段を増やしてほしいという要望があります。公園のリニューアルにあわせて改善できませんか。

町長答弁 スクールバスが運行しているので利用して下さい。

質問3 リニューアルにあわせて温

泉施設花神楽も大規模改修する考えはありませんか。

町長答弁 平成27年度に研修棟を増築しました。

維持修繕、設備更新など必要な対応はします。

除雪車等の維持管理について

質問 冬の除排雪は町民の生活と命に直結する重要な事業です。

しかし、格納場所がないため、何台もの除雪車両が野ざらしになっています。高額な除雪車両が劣化して長持ちしません。さらに景観上も、保安上も好ましくありません。

また、除雪業務担当者の休憩場所も満足ではありません。このままで



除雪車

は作業事故が心配です。

ふさわしい規模の車両センターを、早急に建設すべきではありませんか。

町長答弁 指摘の通り、5台の除雪車両を車庫に格納できず、屋外に駐車しています。保安面や景観の点からも好ましくないと考えています。

しかし財政的に厳しく、他の建築物に比べ優先順位が低いいため、建設の見通しが立っていません。他の公共事業や、中央市街地の再整備をすす中で考えます。

国営緊急農地

再編整備事業について

質問 この事業が平成29年度の着手に向けて動いています。

この事業が東神楽の農業に対しどのような効果をもたらすのか、プラス・マイナス両面から町長の考えを問います。

町長答弁 圃場の大区画化に伴う作業時間の軽減、作業性の向上、米、麦ばかりでなく、多様な野菜の作付けが可能となるので、生産性の向上につながると考えています。

課題としては、表土に手を加えることによる収量低下、石れきの処理、標準面積2・2ヘクタールに満たない面積の農家の対応などが挙げられます。

大門 登議員



問 東聖簡易郵便局の存続について

答 「ふれあい交流館」の内外は行政財産なので、民間に貸せない



東聖簡易郵便局

質問 東聖簡易郵便局は、東聖・ひじり野地域に開設されて、50年位町民に貢献して来ましたが、現在の局舎は、10月までの契約の通知があり、地域住民は、利便性のある「ふれあい交流館」の内外での設置の存続を望んでいる。嘆願書や署名した方の対応について、町長の見解を伺います。

町長答弁 大門議員を通じて、391名署名と嘆願書を受取りました。「ふれあい交流館」の建物内、又は、駐車場敷地共に行政財産なので、民間企業に対して貸し付けることはできません。

再質問 道内の各自治体では、33局受託している。上川管内では、鷹栖町・美深町・和寒町・占冠村・幌加内町が3か所と農協13局、民間225局が開局しています。地域住民の方々の家庭の手助けや福祉向上のためにも、再度考えを伺います。又、今後は敷地や建物内は民間に貸し付けることはいらないと確認していいですか。

町長再答弁 地方自治法により、余裕があれば貸すことはできるが、「ふれあい交流館」は内外の利用状況からみても貸すことはできません。

学校給食費の助成で子育て世代の経済負担の軽減を

質問 今、少子化が問題になっている中に、子育てでお金がかかりすぎることや所得の低下、非正規雇用の拡大など、雇用不安があり、給食費も若い世代にとって経済負担となっています。美瑛町では、保護者の負担の軽減と安心して子育て出来る環境づくりの小・中学校共に給食費を無料化しています。わが町でも、子育て支援を更に手厚くしていく為に当面は給食費の助成について、お伺いします。

町長答弁 子供の育ちや町民の健康づくりのため、学校給食や食育の取り組みは重要と考えておりますので、全ての児童生徒に無料化や助成は、財源の確保や事業の継続性の観点から考えていません。

再質問 給食費の無料化や助成については、幾つかの自治体で取り入れが進んでいる。町長や若い世代の生活実態など把握しているのでしょうか。当面は、第二子以降の子どもに給食費の助成をすることで更に出産

につながります。再度考えを伺います。

町長再答弁 それぞれの生活実態があるうと思っております。確かに給食費がないのは助かると思いますが、財源の中で、第二子以降についても様々な角度から検討していきたいと思えます。又、様々な議員からご提案を頂いていますことは、重く受け止めたいと思います。

ひじり野地区に支所の設置・病院の誘致は

質問 ひじり野地区に支所を設置することで、定例議会で答弁がありました。3年過ぎても結論が出ないのは、又、病院の誘致をすることで用地を確保し、豊岡中央病院に内定したとのことですが、進捗状況について、2点について、具体的な内容をお聞かせ下さい。

町長答弁 業務の内容や人員の配置と業務を行う場所について、ふれあい交流館・ベストムの一角・旧館花医院それぞれの設置場所として、検討してきた支所機能のあり方を総合的な見地から検討が必要であり予算を計上して、検討委員会を設置して協議を進める。病院の誘致は現状では、豊岡中央病院の開設は難しい状況なので、引き続き誘致活動に努力します。

丸田隆嗣 議員



問

猫の対応について

答

指導に努めてまいります

質問 町の広報3月号によると、野良猫にはエサを与えない、又、猫を飼われている方は、外へ出さない場合がありますが、このような事があつた場合に町はどう対応しますか。

町長答弁 「動物の愛護及び管理に関する法律」などに基づいて、指導に努めてまいります。

再質問 指導に効果がない場合に町のできることはありますか。

町長再答弁 強い指導、又、何らかの措置というのは非常に難しいと思います。

山本町政について

質問 一期目の自己評価は100点満点で何点ですか。又、反省点はありませんか。

町長答弁 公約に掲げた項目は全て着手し、着実に成果をあげており、90点と思っています。反省点は、町政を担う中で、日々反省をしながら進めてきており、特に「計画の立案と実施の精度」をさらに高めていくことの必要性を痛感しています。

再質問 自信満々の答弁で、常日頃反省しているで90点ですか。90点では駄目なんですよ、100点でなければ。なぜなら残り10点を町民が何らかの形で負担するからです。

町長再答弁 10点はまだあるから頑張るぞという思いです。

森林公園 リニューアル計画について

質問 総事業費23億円ということですが、年次計画、収支計画、資金計画をお聞かせ下さい。

町長答弁 年次計画は5年から10年程度を予定。収支計画は利用料ベースで800万円の増。資金計画は林業・木材産業構造改革事業の補助金や辺地対策事業債などによる財源を中心に考えております。

再質問 森林公園リニューアル計画は、赤字になってはいけない事業なんです。なぜなら、この事業をやらなくても、町民は直接こまらないです。23億円かけて毎年度赤字になりませんか。

町長再答弁 施設を整備するのが、町の公共施設の形になります。これを投資して回収するという考え方は相容れないと思います。赤字の部分では、指定管理として運営をしていく中では、それは指定管理の責任があると思います。必要な部分は町として負担をしていくと考えてます。



森林公園

新町団地計画について

質問 2階建部分については木造で建築するということでした。その理由は、木造でないと町内建築業者が建築に参加出来ないという説明でした。問題ありませんか。誤解のないように進めて下さい。

町長答弁 町内建築業者が参加出来ないということではありませんが、受注機会の拡大につながり、地域産業の発展、経済の活性化に寄与するものと考えております。

副町長2人体制について

質問 町政は時代とともに多様化・複雑化し、予算も人口増加に伴い拡大しております。又町長のマニフェストに「花のまち東神楽町」のトップセールスマンとなり、イベントやPR活動を強化するとあります。そのために副町長を2人体制で行うことが必要と思います。町長の考え方をお聞き致します。

町長答弁 副町長2人体制は有効であると認識しております。又、国に対して副町長級の職員の派遣を要望してありますが採択されておりません。今後研究を進め、改善していく所存であります。

山口千春 議員



問 続く大型投資案件、どこまで可能なのか

答 有利な補助制度、起債で財源を確保していく

新しい消防団員への
連絡体制の整備を早急に

質問 現在団員への招集はすべて携帯電話へのメールで行っていますが、かねてより寝ている時間に連絡が来ても気がつかないのではと懸念していました。残念ながらそのとおりとなってしまう、多くの団員が「全く気がつかず、朝メールを見てびっくりした」と語っていました。

現在の連絡システムには限界があります。

町長答弁 今後、防災行政無線の活用により招集を行って参ります。夜間等においても消防団員を招集することがありますので町広報「2月号」でお知らせしたところです。

再質問 深夜に町民全体への放送では多くの苦情が予想されるのでやはり団員だけに連絡できるようにするべきと考える。

町長再答弁 老朽化した防災行政無線の更新において消防の実態も踏まえながら機器の選定、設計に当たっていききたいと思えます。

子供の貧困対策として
高校生等奨学給付金へ
町独自の乗せを

質問 国の方でも子供の貧困問題

がしっかりと認識され、平成26年度より高校生等奨学給付金制度として高校生版就学援助が始まりました。高町としては「義務教育までの子供を支援」が基本とされてきましたが、来年度より高校通学費助成事業が始まるなど町の方針も変わりつつあると感じ、今改めて4年前に求めた政策の実現を求めます。

遺児手当の増額もするべきではありませんか。

町長答弁 町独自の上乗せ給付については事業の継続性や財源確保の観点から現在のところ考えていません。町としては遺児手当受給者も含め全体的にどのような支援が出来るのかを調査・研究を進めて参ります。

再質問 予算面を検討して出来るかと踏んだら是非とも実現していただきたい。

町長再答弁 子供の貧困対策については非常に重要な課題と認識している。上乗せ給付は現在考えていないが貧困対策全般については町として考えていききたい。

続く大型投資案件、
どこまで可能なのか

質問 今後町においては大型投資案件が続きます。すでにある計画として新町団地整備計画に23億円、森

林公園リニューアル計画も23億円、国営緊急農地再編整備事業は全体で町負担は20億円弱、このほかに診療所、福祉会館の建替えが必要であり、これらを合わせると70億円は超えるでしょうが、いったいどの程度予算の目処がついているのでしょうか。

町長答弁 新町団地は社会資本整備総合交付金等、森林公園は林業・木材産業構造改革事業補助等により財源を確保しています。

現行の国や北海道等の補助制度や起債の中で有利なもので財源を確保して参ります。

再質問 森林公園リニューアル計画に一部過剰投資や企画倒れの懸念がある。計画の一部断念・縮小という決断はできますか。

町長再答弁 有利な財源措置が出来なかつたりした場合や、見直した方がよいというのであれば見直していくつもりです。



新町団地開発予定地

窪田 功 議員



問 ひじり野地区における病院の開設について

答 医療機関の開設は、現状では難しい状況にあります

質問 ひじり野西地区における病院の開設はその後何時になるのか、見通しはあるのか。町はこの場所に豊岡中央病院を誘致し、開設するとの報告が議会でありましたが、未だに建設の兆しが見えませんが、町民は早く出来る事を待ち望んでいます。その後の取り組みについてお伺い致します。

町長答弁 豊岡中央病院によります医療機関の開設は、現状では難しい状況にあります。引き続き誘致活動に努力をしております。

再質問 難しいということは、開設する意思がないのか。用地を転売して、そういう関係の方に話を進めてみてはいかがか。空地のままではあの団地の魅力が欠け、イメージダウンになりかねないと思います。開設しないのであれば閉院された館花医院、あそこに他の医療機関を誘致するか、引き続き努力をお願いします。

町長再答弁 空地のままですというところもやはり問題であると思っております。豊岡中央病院の方でも難しいというようなお話しはいただいております。先方も何らかの形で開設できないか、若しくは転売することも含めてですね、そういった医療機関がないかという話もあるわけですね。私どもの方でも様々な形で誘致を行っておりますので、事業を進めていきたいと考えております。

質問 この噴水が出来てから約40年近く過ぎていて、その後改修工事がなされておられません。給水管が破損して6、7箇所位噴水していません。公園のシンボルとして町内外の人達の憩いの場所であり、夏には夕涼みに訪れている所です。早急に改修して欲しいのですが直す計画があるのかお伺い致します。

義経公園の噴水の改修について



町長答弁 噴水の管網の調査を行い、修理を実施したいと考えております。なお、噴水の施設全体で老朽化が進んでおりますので、今後、噴水施設の改修となりますと費用も多額になりますし、維持管理の面から将来とも継続していくことができるかも含めて、検討してまいりたいと考えております。

再質問 昨年の9月の決特の時に伺ったところ、来年は直しますという話でしたが、28年度予算計画を見ますとそのような項目がない。多額な費用が掛かると言いますが、水が噴水するような現状回復ぐらいの手当てをしていただければ、その辺やるのか、お伺いいたします。

町長再答弁 私ども予算の中では維持修繕の中で対応させていただくと考えております。春になってから、調査と修復につきまして検討させていただきます。



義経公園噴水

■ 中屋豊孝 ■ 議員



問

高齢者支援について

答

施設入所希望の相談対応はご本人の意向やご家族の希望等考慮し、最適な事業所や制度利用等の支援を行います

質問 東神楽町は、全道一若い世代の多い町といわれています。町では、こども世代には支援策を打ち出し、今年度からは、高校生の通学費の一部助成し、これからの東神楽担い手となる子供達を育てやすい町として、まちづくりを進めています。

一方、開拓から120年余の東神楽を支えてきたシニア世代は、少子高齢化の波が、全国傾向と同じ高齢化が進んでいます。

今、国は高齢者の介護について在宅による介護を進めようとしています。認知症の患者割合は、厚生労働省の発表によると、2012年では7人に一人、2025年では5人に一人の割合になると予測されています。先般最高裁判所の判決で報道された様に、老々介護による家族の責任問題や老々介護に疲れた結果の事件が数多く報じられています。

今、東神楽町では、国民年金だけの高齢者が施設入所したくとも入所出来なく、やむ無く在宅介護・老々介護をせざるえない場合も多いのではないのでしょうか。

東神楽町独自の高齢者介護・認知症介護・老々介護に対する施策を山本町長の斬新な発想をお聞かせ下さい。

町長答弁 東神楽町の65歳以上の高齢者人口は2515人、高齢者比率は24・2%で全道的にみても低い状況

ですが、今後高齢化率が高くなる事は避けられませんし、高齢者支援は、重要な政策課題と考えています。認知症の方につきましては、現在「認知症サポーター養成講座」の実施や福祉事業者・福祉関係者で構成する「地域ケア会議」や関係者間のネットワーク強化を図っております。

施設入所希望の相談については、「在宅サービス」を活用しながら、本人・家族の意向や介護・医療・経済面等を考慮し、最適と思われる事業所や制度利用等の支援を行っております。

スポーツ運動公園の建設予定は

質問 スポーツ少年団活動や中学校部活動・一般成人の健康と趣味の活動で総合体育館や義経公園等を多くの町民が利用しており、ときには利用者が多く使用出来ない日もある現状です。

東神楽町に総合体育館や義経公園にナイター設備が出来た頃は、施設が充実している町と感じていましたが、近郊の町村で野球場・サッカー場の無い町は、東神楽町だけではないのでしょうか。

現在野球少年団・サッカー少年団・バレーボール少年団等の指導に町職員が健闘している姿もみられますが、

活動するには施設が十分ではありません。地域での「スポーツで健康作り」「元気でゆとりあふれる町づくり」と言っても指導する人材や場所がなければどうしようもありません。町民の健康づくり・人づくりのために、スポーツ運動公園の設置を考えてはどうでしょうか。

教育長答弁 平成11年度に「総合運動公園のあり方」についての検討委員会を設置し「野球場などの運動施設を備えた公園の建設が好ましい」との答申がでておりますが、ひじり野地区に隣接した「東光運動公園」が出来たことにより、具体的な検討には至っておりません。また、町全体の施設設備の老朽化により、大規模な修繕や建て替えが急務になっており、「スポーツ公園」の整備は、建設費用や維持管理費にかかる経費の財源確保など、難しい課題があると考えております。



第1回ナイタークロスカントリー大会

第1回定例会 主な議案

項 目	内 容
平成28年度予算	
一般会計 国民健康保険特別会計診療所勘定 公共下水道特別会計 水道事業会計	2～5ページに特集
補正予算	
一般会計 国民健康保険特別会計診療所勘定 公共下水道特別会計 水道事業会計	歳入・歳出それぞれ 67,613千円増額 " 4,430千円減額 " 14,567千円減額 水道営業収益の 3,531千円増額等
条例の制定・改正	
行政不服審査法施行条例 手数料徴収条例の一部を改正する条例 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例等の一部を改正する条例 特別会計条例の一部を改正する条例 職員の給与に関する条例の一部を改正する条例 税条例の一部を改正する条例 放課後児童健全育成事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例	行政不服審査法の全部改正に伴い制定 長期優良住宅建築等計画認定事務所の手数料 教育委員、農業委員等の報酬等の増額 一部特別会計の廃止、名称の改正 地方公務員法の改正に伴う引用条文のずれの修正等 行政不服審査法の改正に伴う修正等 放課後児童支援員の資格要件の追加
同 意	
監査委員の選任について同意を求める件	木村昭喜氏を監査委員とする
報 告	
予算等審査特別委員会審査報告	特別委員会よりの審査報告（5ページ）

第2回臨時会

日 時 平成28年2月15日

議 案

平成27年度一般会計補正予算
東神楽町副町長の選任について同意を
求める件

内 容

歳出の主な補正
中体連大会等補助金等 85万2000円
予備費より充当
副町長に西山満氏を同意

第3回臨時会

日 時 平成28年3月30日

議 案

平成27年度一般会計補正予算

内 容

歳 入	歳 出
地方交付税増額	財政調整基金積立金
国庫補助金	国際交流観光事業等
3,909万4,000円	6,000万円
5,100万円	5,744万円
	2,154万6,000円減額

議会の動き（1月25日以降）

議長、議員等の動向

開催日	開催場所	会議の名称、内容等	出席、参加者
2月16日	福 社 会 館	創立50周年記念老人クラブ大会	副議長
18日	旭 川 市	上川町村議長会定期総会	議長
23～26日	台 湾	観光プロモーション	〃
3月12日	中 学 校	東神楽中学校卒業式	議長、議員
13日	旭 川 市	ささき隆博「ふるさとの集い」	議長
18日	町 内	東神楽、東聖、忠栄、志比内各小学校卒業式	議長、議員
25日	美 瑛 町	広域連合議会定例会	議長、議員

委 員 会

開催日	開催場所	委員会の名称、内容等	出席、参加者
2月15日	委員会室A	議員協議会（第2回）	議長、議員
26日	委員会室B	議会運営委員会（第1回）	委員、議長
29日	議員控室	議員協議会（第3回）	議長、議員
3月7日	委員会室B	議会運営委員会（第2回）	委員長、委員、議長
16日	本会議場	予算等審査特別委員会	委員長、委員
17日	〃	〃	〃
18日	〃	〃	〃
18日	議員控室	議員協議会（第5回）	議長、議員
30日	委員会室B	広報常任委員会（第1回）	委員長、委員
4月12日	〃	〃（第2回）	〃

■議会広報常任委員会

委員長	渡辺 一志
副委員長	竹久美紀恵
委員	山口 千春
〃	窪田 功
〃	中屋 豊孝
〃	生出 栄



私達6名で議会広報を作っています。議会と皆さんの架け橋役として見やすい広報作りに努力して参ります。